

VTBASS 200 design by TECH 21



USER GUIDE

1 はじめに

この度は TECH 21 製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品の性能を最大限に引き出すためにご使用前にかならず本紙をよくお読みください。また、本紙は保証書を兼ねております。再発行はいたしませんので、大切に保管してください。VT Bass 200 は、オールアナログの SansAmp™ プリアンプとクラス D パワーアンプを搭載した 200 W ベースコンボアンプです。VT Bass 200 は、軽量で持ち運びやすく、背面ポートの 1 x 12 キャビネットにビンテージからモダンまでの幅広いベーストーンを詰め込みました。SansAmp Character Series ペダルに搭載された、Character コントロールを搭載し、さまざまなボイスを自由自在に操れます。「VT」ファミリーよりもさらに幅広いベースアンプスタイルを提供するために、Character 回路内の周波数を変更するための Shift ボタンがあります。さらに幅広いベースアンプのトーンがさらに追加されます。さらにゲインとオーバードライブの全体量を調整するための Drive、プレゼンスブーストを有効にし、歪んだ設定のときにサウンドを引き締めるバイトスイッチを搭載。スタジオやライブ現場では、当社独自の 100% アナログ SansAmp チューブアンプエミュレーション技術により、XLR ダイレクト出力を介してレコーダーまたは PA システムのミキサーに直接接続可能です。

2 使用上の注意



警告

以下の記載次項に反して誤った取扱いをすると、人体に重大な影響（死亡、重傷等）が発生する可能性があります。誤った取扱いは、火災・感電の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。

電源の電圧について



表示された電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないで下さい。火災、感電の原因となります。

分解及び改造について



本機を分解したり改造を行わないで下さい。故障、火災、感電の原因となります。お客様自身で修理・交換が可能な部品は内部にはございませんので修理はお買い求めの販売店へご依頼下さい。

温度について



本機は正常動作時でも、真空管、放熱板、及び各種トランスの表面は高温になります。本機使用中と電源を落としてから30分以内はやけどの恐れがありますので、開口部よりキャビネットの中に手を入れしないで下さい。

液体、異物について



本機、もしくはキャビネットの中に付属品以外の機器、異物（可燃性のもの、硬貨、針金などの通電性のもの）や、液体（水やジュースなど）を絶対に入れたり、こぼしたりしないで下さい。またこの機器の上に飲み物を置くこともやめて下さい。万一、異物が入ったり、液体がこぼれた際は直ちに電源スイッチを切り、電源コード等を取り外し、お買上げの販売店へ修理を依頼して下さい。

電源ケーブルについて



電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重い物を載せたりしないで下さい。電源コードやプラグの破損につながり、火災感電の原因となります。

雷について



雷が発生し、雷鳴が聞こえるときは直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、使用を中止して下さい。直接の落雷でなくても、近距離で落雷があった際はコンセントに高電圧が発生し感電する危険があります。

音量について



本機を単独で、もしくはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快なほどの音量で長時間使用しないで下さい。万一聴力低下や耳鳴りを感じたら専門医へ相談して下さい。

開口部及びファンについて



本機のすべての開口部をカーテンや幕、その他物体で塞がないでください。正常に放熱ができなくなり、異常発熱、発火、火災の原因と成ります。また、放熱ファンに、紐、電線、針金、弦などを近づけないでください。



注意

以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体及び器物に重大な影響(傷害、器物破損等)が発生する可能性があります。誤った取扱いは、火災・感電・製品破損の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。

電源ケーブル及び電源プラグについて



- 電源ケーブルを抜き差しする際は必ず、電源プラグを持って行って下さい。
- 濡れた手で電源プラグに触れないで下さい。感電の恐れがあります。
- 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。

ヒューズ交換について



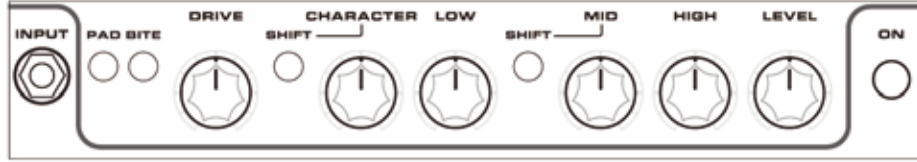
※外側にヒューズホルダーが取り付けられている機種において、ヒューズが切れた場合、ご自身で交換せずに、お買上げの販売店へ修理を依頼して下さい。ヒューズが切れた原因は内部の故障に起因しますので修理を行うことなく再び電源を入れるのは火災の原因となり大変危険です。

転倒注意



カート、スタンド、三脚、ブラケットは、本製品専用またはメーカー推奨品のみを御使用下さい。本製品をカートに乗せて運ぶ際は、転倒による事故に充分注意して下さい。

フロントパネル



INPUT JACK:

1/4" モノラル標準フォン入力。ピエゾも想定された、ハイインピーダンス 4.7M Ω です。PAD スイッチを ON にすることで、約 10K Ω のローインピーダンスに変化します。これはラインノイズの干渉を減らし、高出力のアクティブピックアップによる過負荷を防ぎます。

PAD スイッチ:

アクティブベースとクリーントーンのための、-10dB のパッドスイッチがあります。接続するには、スイッチを押し込みます。

注：アクティブサーキットはより高い出力を持ち、通常はより多くのノイズを生成します。補正するために、入力パッドを使用することをお勧めします。さらに、楽器本体の EQ をフラットにしたり、Drive、Character、High の各コントロールを下げてください。

DRIVE:

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調整します。12 時の位置までは、音量とオーバードライブが増加し、12 時の位置以降ではオーバードライブのみが増加します。

CHARACTER:

トーンキャラクターを調節します。周波数応答を変更し、アタックとドライブにも影響を与えます。そのため、Character コントロールを微調整した後で、ゲインとトーンの設定を調節する必要がある場合があります。

CHARACTER SHIFT スイッチ:

周波数特性をシフトし、ビンテージ「VT ベース」からオールドスクール、モダンまで幅広いトーンを実現します。

CHARACTER SHIFT OFF ():

12 時の位置より下では、70 年代の SVT スタイルのパワーハウス。

12 時の位置では、スタジオの定番、フリップトップ。

12 時の位置を超えると、モダンなロック、インディーベースのサウンドのゲインとクランチが向上。

最大でビンテージとモダンな歪んだサウンド。

CHARACTER SHIFT ON ():

12 時の位置より下では、アコースティック 360 からビンテージのサンおよびフェンダースタイルになります。

12 時の位置では、スタジオの定番であるフリップトップも紹介されます。

12 時の位置を超えると、ジャコスタイルのトーンのゲインとパンチが向上します。

最大で、攻撃的で明瞭な歪みが得られます。

TONE CONTROLS:

本機はカットするだけの従来のパッシブコントロールではなく、ブーストとカットを行うアクティブ EQ コントロールです。

これにより、コントロールの多くの機能が効果的に 2 倍になり、はるかに広い範囲を調節でき、より多様性が得られます。最大の結果を求める場合にも、すべてを最大に設定する必要はありません。コントロールの相互関係に慣れれば、オリジナルなサウンドを簡単にカスタマイズできます。

LOW & HIGH:

ユニティゲインから 12 dB カットまたはブーストします。Low は 55 Hz を中心としています。High は 3 kHz を中心としています。

MID & MID SHIFT スイッチ:

ユニティゲインから ± 18 dB カットまたはブーストします。中心周波数は MID SHIFT スイッチで選択可能です。

OFF () : 1 kHz を中心とします。

ON () : 500 Hz を中心とします。

LEVEL:

マスターボリュームとして機能し、ドライブコントロールと連動します。

クリーンサウンドの場合は、LEVEL を最大に設定して、DRIVE で全体的な音量をコントロールしてください。

歪んだサウンドの場合は、DRIVE を使って全体的な歪みの量と全体的な出力のレベルを設定します。

BITE スイッチ:

ON () にすると、プレゼンスをブーストします。

歪んだサウンドではサウンドを引き締め、クリーンサウンド (Drive が 12 時未満に設定されているとき) では鮮明さを追加します。

AUX IN PHONES



AUX INPUT:

CD / mp3 プレーヤーなどのオーディオ機器を接続できる 1/4" 標準フォン入力。

注：この入力の本機で音量等はコントロール出来ません。

音量とトーンの調節は、オーディオデバイス側で行ってください。

PHONES:

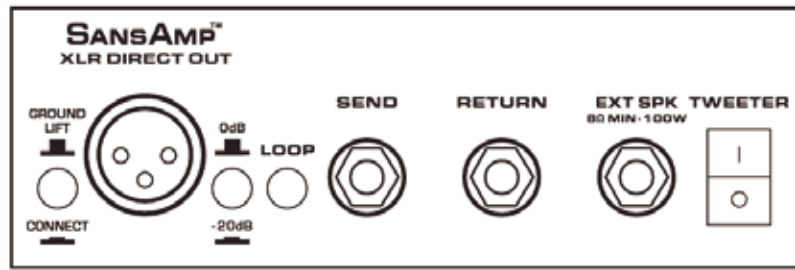
1/4" 標準ステレオフォンヘッドフォン出力。パワーアンプをミュートします。

注：32 Ω 定格のヘッドフォンを使用することをお勧めします。

効率が低下してパフォーマンスが低下する可能性があります。

耳への影響を最小限にするために、レベルコントロールを必ず下げてください。

リアパネル



SansAmp XLR DIRECT OUT:

レコーディング現場で:

SansAmp XLR DIRECT OUT は内蔵のダイレクトボックスのように使用できます。ミキサー等に直接接続して、スピーカーから出てくるのと同じサウンドをテープまたはディスクに直接取り込むことができます。SansAmp 回路は真空管アンプ特有の暖かく豊かで自然な高音域と甘いオーバードライブ特性だけでなく、スピーカーエミュレーション機能は複数のマイクでマイキングしたかのような、スムーズなサウンドを演出します。

ライブ現場で:

この出力を PA システムに直接使用することができ、アンプの前にマイクは必要ありません。

XLR LEVEL スイッチ:

XLR 出力を介して異なる入力レベルの機器に接続することができます。

-20dB (■): ラインレベルの信号を 20dB PAD します。

0dB (■): ラインレベル出力。

GROUND LIFT スイッチ:

このスイッチを ON にする (■) と本機のグラウンドはカットされた状態になり、接続されているミキサー等のグラウンドに接続されていない状態になります。また、このスイッチを OFF にする (■) とグラウンドが接続されます。

EFFECT LOOP:

プリアンプとパワーアンプセクションの間にペダルタイプ、ラックタイプの両方のエフェクトを接続できます。

Return へエフェクターの出力をつないでください。時間ベース (コーラスまたはディレイ) のエフェクトをエフェクトループに挿入し、ディストーション/ワウペダルをベースと本機の間接続することをお勧めします。

LOOP スイッチ:

ON (■) にすると、EFFECT LOOP 機能がアクティブになります。

NOTE: リターンに 1/4 インチのダミージャックを挿入すると、ループスイッチがミュート機能として機能します。

SEND and RETURN (Effects Loop):

エフェクターの入力を SEND 出力に接続します。

エフェクターの出力を RETURN 入力に接続します。

EXTENSION SPEAKER OUTPUT:

外部スピーカーキャビネット用の 1/4" コネクタ、最小 8Ω、100W。並列に配線されており、内蔵スピーカーをミュートしません。

TWEETER ON/OFF スイッチ:

本機の高周波数機能を拡張します。必要に応じて ON/OFF してください。